

議員定数削減

6月定例議会におきまして、議員定数削減が決まりました。今期22名であったものが、来期からは20名になります。

私はかねてより16名を主張していましたが、そこには及びませんでした。今後の課題とさせていただきます。

なお、議員定数16名の根拠は、市民5,000人あたりにつき議員一人というものです。人口規模の似ている西尾市や、同一区内の豊川市では達成されております。

議会の力を弱めるのではないかと一部議員の反対意見がありました。兼職を持たず、全議員が専任となれば充分負託に応えられるはずはです。

市民負担の軽減を求めつつ、行政の暴走を防ぐためのギリギリの数字だと思えます。

議員年金廃止意見書提出

平成21年12月に発行したマイレボ13号に、議員年金廃止提案をしたと書きました。

その後の粘り強い活動を経て、本議会において、蒲郡市議会の全議員一致をもって、国に対し議員年金廃止の意見書を提出することになりました。

ただし、既に議員年金を受給している方や、遺族年金を受けている方への配慮はしています。

国で廃止が決定されれば、蒲郡市民の市税負担は2,200万円ほど軽減されます。

余談ですが「レボリューション」の意味は「改革」です。

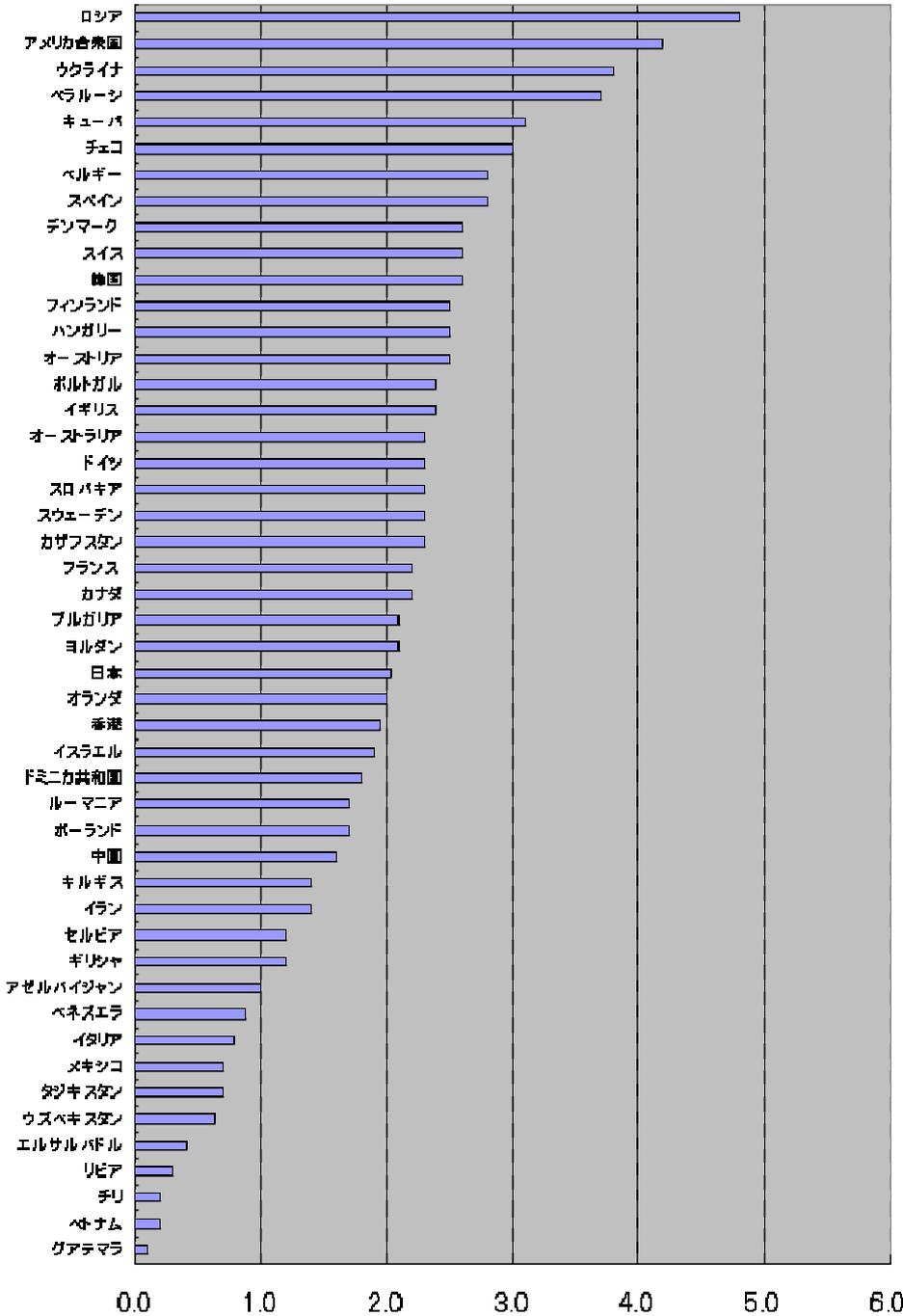
右傾化への不安

この度、「夫婦別姓を容認する法

案に反対する意見書」が国へ提出されることになりました。

これは夫婦で協議し、別姓の選択ができることも否定するものです。

提案者の理由は、夫婦別姓になれば家族崩壊するというものです。しかし、総務省統計局「世界



【図1】世界の離婚率

の統計2010」によりますと、夫婦別姓を取っている中国の離婚率は1.6、対して日本の離婚率は2.0となっています【図1】。

夫婦が別姓になることで家族崩壊が増えるとは考えにくいデータです。家族崩壊は別の理由から起こるのではないのでしょうか。

姓(苗字)の統一を否定するものではありません。

たとえ少数であっても、別姓を希望する方もいます。この方々の権利を奪うことのないよう、選択的夫婦別姓の自由があってもよいのではないのでしょうか。

3月議会において、永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書」が採択され、国へ提出されました。

私は、この決定は世界の潮流を無視したグローバル社会に逆行するものだと感じています。

蒲郡市の施策として外国人との「多文化共生事業」があります。これは、外国人と共に平和に暮らすための事業です。

市議会はなぜ閉鎖的になるので

しょうか。

一連の意見書提出を受け、私は蒲郡市議会が極端な保守化、右傾化して行くことを強く憂慮します。

国道247号中央バイパス

この件について6月議会的一般質問で取り上げました。

まず、平成22年6月現在、このバイパス建設の進捗状況をお知らせします。

平成20年12月25日、中央公園付近の荒子トンネル竣工式がありま



R247 バイパス・カインズモール前

した。そこから東方面は暫定2車線にて共用されています。西はカインズモールから競艇場前を通り、一部4車線で幡豆方面へ抜けています。

残すところは概ね塩津地区、神ノ郷地区で、90%の用地買収率となっています。

全線開通は平成23年度末の予定です。

ところで、このバイパス建設の目的は市中心部の慢性的大渋滞している交通緩和にありました。しかし、既に供用開始された部分においても渋滞が起こっています。

特にひどいところは鹿島町地のカインズ・ショッピングモール前で、新たに蒲郡ショッピングモールができることを考え合わせれば、すぐにでも4車線化が必要で

す。県の方針としては全線開通後すぐ4車線化に掛かるといいますが、地元要望を受け、蒲郡市は県に対して4車線化の要望を出しているところです。

民間委託

私はかねてより、公共施設の運営は民間のお知恵を拝借し市民サービスの向上に努め、なおかつ経費の節減を目指し、民間委託を勧めるべきと主張しています。

このたび、大塚町にある養護老人ホームと平成22年2月18日に形原町春日浦に竣工した形原公民館の2施設が、新たに指定管理者を導入することになりました。

なお、指定管理を含む民間委託をしている施設は平成22年4月1日現在、図書館・体育センター、



養護老人ホーム・現在は蒲郡市直営



形原公民館・平成23年度から指定管理者導入予定

市民会館、都市公園など41ヶ所
及んでいます。また、水道課の
一部事務や下水道浄化センターの包
括管理なども民間に委託していま
す。

議会報告

平成22年6月議会

一般質問

1、国道247号中央バイパス鹿
島町地内の渋滞緩和について
(1) 国道247号中央バイパス
の進捗状況について

ア、進捗状況について

イ、完成目標時期と達成見込み
について

(2) 鹿島町地内の渋滞緩和につ
いて

ア、地元要望について

イ、大型商業施設の出店と交通
量予測について

ウ、信号設置と4車線化につい
て

2、乗って残そう名鉄西尾・蒲郡
線について

(1) 利用促進策について

ア、利用促進策の内容について

イ、鉄道ファンへの働きかけに
ついて

(2) 直近の幹事会、協議会につ
いて

(3) 具体的な支援策について

(4) 総合公共交通体系について

3、ラグーナ蒲郡の現状と今後に
ついて

(1) 前期の決算状況について

(2) 来期の見込みについて

(3) 蒲郡市の取り組みについて

ア、利用促進策について

イ、金銭的支援について

ウ、政策的支援について

反対討論

「意見書案第3号・夫婦別姓を容
認する法案に反対する意見書」に
反対の立場で討論を行いました。